

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	親鸞筆『佛説阿彌陀經』『佛説觀無量壽經』被字音注漢字索引(上)
Author(s)	佐々木, 勇
Citation	比治山女子短期大学紀要 : Bulletin of Hijiya Women's Junior College , 27 : 45 - 59
Issue Date	1992-10-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00025486
Right	
Relation	



親鸞筆『佛説阿彌陀經』『佛説觀無量壽經』

被字音注漢字索引 (上)

佐々木 勇

(國文科)

一、はじめに

『佛説阿彌陀經』『佛説觀無量壽經』は、『無量壽經』との三部で、浄土宗諸宗の根本經典『浄土三部經』として、奈良時代以来重視されてきた。「正倉院文書」には、『浄土三部經』の各経が、「讀經」「誦經」の項目のもとにしばしば記されている。

しかし、その時の読みが、訓読であったか、漢字音で通して音読されたものかは不明である。現存する資料で、漢字の音で通して読まれているものは、鎌倉時代以降のものしか管見に入っていない。本稿で索引を公表する親鸞筆の『佛説阿彌陀經』『佛説觀無量壽經』は、そのなかで最古のものである(佐々木勇「龍門文庫蔵『浄土三部經』について」△鎌倉時代語研究」第十三輯V参照)。

親鸞筆『佛説阿彌陀經』『佛説觀無量壽經』は、親鸞(一一七三―一二六二)によって、一二〇一―一二〇五年ごろに書写されたものとされている(『親鸞聖人眞蹟集成 第七卷』△法蔵館Vの解説)。この経の本文の多くの漢字には、漢字のアクセント(声調)を示す声点と、片仮名とが、こ

れも親鸞によって加點されている。その漢字音注は、当時の日本の漢字音(呉音)を知るための貴重な資料となる。

まず、本資料の声点は、大部分が呉音声調を示しており、四声体系で加點されている。清濁を区別し、入声については、「急キフ」(舌内入声と入声の促音)と「緩ユル」(喉内入声・唇内入声)とを区別する親鸞独自のものである(小林芳規「鎌倉時代語史料としての草稿本教行信証古点」△「東洋大学大学院紀要」第2輯V、沼本克明「漢字音に於ける促音の表示法」△「国文学攷」第六十九号V参照)。この声点によって、当時の漢字音の声調・連濁の実態・入声の発音の方法・入声の促音化の実態など多くのことが知られる。つぎに、仮名音注は、ごくわずかではあるが、これも当時の経文誦詠の際の生の音を知ることができる点で重要である。

このような貴重な鎌倉時代の日本漢字音資料でありながら、本資料は従来、漢字音資料としては、ほとんど活用されていなかった。よって、ここに漢字音注が加點された漢字の索引を作成し、研究資料として公表するものである。

二、親鸞筆『佛説阿彌陀經』『佛説觀無量壽經』被字音注漢字索引(上)

1 一部

〔凡例〕

- 1、本索引の底本は、『親鸞聖人真蹟集成 第七卷』(法藏館)である。
- 2、本索引は、底本の経文本文に用いられている漢字のうち、漢字音注(声点・仮名音注)が加点された漢字の総てを収載したものである。
- 3、漢字の配列は、『康熙字典』に従った。
- 4、用例の掲出は、紙幅の都合上、次のような方針で行なった。
- ① 当該字が句頭の場合(判断は本資料の句切り点による)は、当該字以下の用例は、なるべく短く掲げた。
- ② ただし、句頭の場合でも当該字が入声字のときには、それにつづく字による促音化の可能性が存するため、当該字の直後の字は省略しなかった(句末の場合は、次の句頭の字を採ることはしなかった)。
- ③ 当該字が句中・句末の場合は、当該字の直前の字は省略しなかった。
- 5、声点は印刷の便宜上、平声・上声・去声を(平)(上)(去)であらわし、入声は「急」を(入急)、「緩」を(入緩)で示した。また、それぞれの濁音は、(平濁)(上濁)(去濁)(入濁急)(入濁緩)とした。ただし、まれに平声軽・入声軽の位置に加点された例がみられる。その際はその旨を記した。
- 6、用例の下の数字は、所在を示す。漢数字は『佛説觀無量壽經』の、○印の算用数字は『佛説阿彌陀經』の底本での頁数を表している。その下の算用数字は、底本の該当頁での所在行数である。

〔一〕	一(入緩)卷(平)	二一	七(入急)寶	九二
	一(入急)時(上濁)佛(入濁急)	二二	第七(入緩)觀	二六三
	有(平)一(入急)太(平)子(平)	二五	經七(入急)七(入緩)日	五六四
	一(入急)不(上)得(入緩)往(平)	二七	七(入急)菩提分	⑤三
	有(一)入急)臣(平)	四七	〔万〕	
	一(入緩)一	一〇二・一五二	三(去)万(平)	二三
	見一(入緩)寶像	二八三	〔丈〕	
	想一(入急)觀(去)世音	二九二	一(入急)丈(去濁)六像	四二七
	從一(入急)相好(平濁)	三三三・四	丈(去濁)六	四三五
	有(一)入急)立(入緩)化佛	三五三	〔三〕	
	有(一)入急)寶瓶(去濁)	三九五	菩(去濁)薩(入急)三(去)万(平)	二二
	第十一(入緩)觀	四一	逕三(上)七日	三七
	一(入急)丈(去濁)六像	四二七	當(去)修(上)三(去)福(入緩)	一一二
	一(入急)者	四四四・五	此三(去)種(平濁)業	一一六
	一(入急)小劫	四九二	若(入緩)得(入緩)三(去)昧(平)	一六六
	經(去)一(入急)小劫	五四四・六	名第三(上)觀(平濁)	一六七
	俱(去)會(平)一(入急)處(平)	③三	三(去)十二相	二七六
	若(入緩)一(入緩)日	⑧六	三(去)貌(入緩)	二八二・⑭五
〔七〕			三(去)貌(入緩)三(去)佛(入濁急)	
	七(入急)重(上濁)	二六・①	陀(上濁)	二八二
			復有三(去)蓮(上)華	二九六

念佛三(上)味 三〇六・三二六

令離(上)三(去)塗(上)濁 三九一

第十三(上)七觀(平)濁 四四二

發三(去)種(平)濁(心)上 四四四

為三(上) 四四四・七

三(去)者(平)濁 四四五・四五一

具三(去)心(上)濁(者)平 四四六

復有三(去)種(平)濁 四四六

諸(上)三(上)味 四九一

於三(上)七日 五〇四

經三(上)小劫 五〇六

三(去)明六通 五二三

聞三(上)寶(平)濁(名)上 五七二

現前(去)濁(三)上(濁)味 六一七

行此三(去)昧者(平) 六二五

无(去)三(上)惡趣(平) ⑤ 6

無(上)三(去)惡道 ⑤ 6

若三(去)日 ⑧ 6

三(去)貌(入)穢(三)去(苦)上(濁)提 (上)濁 ⑭ 5

為上(平)濁(首)平 二四

蜜(入)急(以)平(上)平(濁)王 三二

[下]

渠(上)去(下)平(濁)皆以 二〇六

下(平)濁 一五一

一(入)急(不)上(得)入(穢)往(平) 二七

不(上)可(平) 四四

臣(平)不(上)忍(平)聞(去) 五四

不(上)宜(上)濁 五五

汝(平)不(上)為(上) 五七

不(去)令(上) 六二

多(去)不(上)善(平)濁(聚)平(濁) 八四

去(平)此(不)上(遠)上 一〇六

汝(平)今(去)知(去)不(上) 一一六

專(去)想(平)不(上)移(上) 一四三

无(去)不(上)具足 一七七

若不(上) 三〇三

心(去)不(上) 四七二・五〇四・⑨ 2

雖(去)不(上) 五五二

具諸(上)不(上)善 五九三

令聲(上)不(上)絕(入)濁(急) 五九七

一心(去)不(上)亂(平) ⑧ 7

[世]

阿(平)闍(上)濁(世)平 二五

遙(去)禮(平)世(平)尊(去) 三四

三世(平)濁 一一六

大(平)濁(比)平(濁)丘(上)衆(平) 二三

大比(平)濁(丘)上(衆)平 ① 3

1 部

嶺山中(上)濁 二二

嬰(上)瑤(入)穢(中)上 三二

空(上)中(上)濁 七五・二八六

於中(上)現 九二・二〇一・三九四

寶中(上) 一五六

色中(上) 一八一・一九二

其中(上) 一八六

蓋(去)中(上) 一九七

水(上)中(上) 二〇七

此衆(上)音(上)中(上)濁 二二二

空(去)中(上)濁 二三四・五三二

鏡(平)中(上)濁 二七一

心(去)想(平)濁(中)上 二七六

掌(平)中(上)濁 二八七・三八二

現(平)濁(身)去(濁)中(上)濁 三〇五

光(上)中(上)濁 三一六・三四六・三五一

於(上)中(上)現 三五二

天(上)冠(上)濁(中)上 三五三

瑤(上)瑤(中)上 三六一

臺中(上) 三九三

其(上)濁(中)去(間)上(濁) 四〇四

空(上)中(上)濁 四〇五・四二一

蓮(上)華中(上) 四一六

上品中(去)生(上)濁 四七一

是名中(去)品 五四六

是名中(去)輩 五四七

七寶池中(上) 五八五

是人(去)中(上)濁 六三一

充(去)濁(滿)平(其)去(濁)中(上) ③ 4

池(去)中(上)蓮(去)華(上)濁 ③ 6

其中(上)多(去)有 ⑦ 7

命(平)濁(中)上 ⑬ 1

1 部

[乃]

蓮華乃(去)開 五〇三

〔之〕

惡(入)慧友(上)之(去)教(平) 二五

心(去)之(上)濁(平)所念(平) 七一

善思(上)念之(上) 一二一

觀之(上) 一六四・二〇二・二六六・三八一

廣(平)長(平)濁(之)上(去)相 三九四

命終之(去)時(上)濁 六〇二

而(去)嚴(上)濁(飾)入(濁)綴(之)上(去) ⑥六

雜(入)濁(色)之(去)鳥(上) ④七

共命(平)之(去)鳥(上) ⑤一

三(去)惡道之(去)名(上) ⑤七

之(去)所能(去)知(上) ⑦四

所能(去)知(上)之(上) ⑧一

〔乘〕

大乘(去)濁 一一四

乘(去)金(上)剛(上)濁(臺) 四六二

乙部

〔九〕 三四一

第九(上)觀

〔也〕

濁(入)濁(綴)惡世也(上) 八三

〔乾〕

乾(去)陀(上)濁(呵)去(提)上(濁)菩薩 ②二

〔亂〕 一心(去)不(上)亂(平) ⑧七

1 J 部

〔了〕

明(去)了(平) 一四四

〔事〕

逆(入)濁(綴)之事(平)濁 五四

奉(平)濁(事)平(濁)師(上)長(平) 一一二

難(平)事(平)濁 ⑬三

2 二部

〔二〕

千(去)二(平)百(入)綴(五十)入(濁)綴 二〇三

三(去)万(平)二(平)千(上) 二〇三

二(上)十五(上)濁(由)上(句) 一九四

十二(平)由(上)句(平)濁 二二一

高二(上)十五(上)濁(去)濁(由)句 三五三

十(入)濁(綴)二(平)部(經) 五六六

〔云〕

云(去)何(上)濁 一三五

云(去)何 一四一

當(去)云(上)何(上)濁 二四一

當(去)云(上)何(上)濁 六二二

汝(平)意云(去)何(上)濁 ⑥五

汝意云(去)何(上)濁 ⑭一

〔五〕

五(平)濁(體)入(濁)投地 八五

有五(平)濁(色)入(濁)光(去) 一〇二

五(去)濁(苦)平(濁)所逼(入)急 一三五

二(上)十五(上)濁(由)上(句) 一九四

第五(上)濁(觀) 二二六

滅除(上)新(五)去(濁)万劫(入)濁(綴) 二七一

如五(平)濁(須)去(濁)彌(上)山(上) 三一四

有五(平)濁(百)化佛 三四六

二(上)十五(上)濁(去)濁(由)句 三五三

百二十五(上)濁(由)句 三八四

二百五(平)濁(十)由句 三八四

不造(上)濁(五)平(濁)逆 五一三

受持五(平)濁(戒) 五一三

第十五(上)濁(觀) 五四七

五(平)濁(根)去(上)濁(力) ⑤二

五(平)濁(根)去(上)濁(力) ⑤三

若五(上)濁(日) ⑧七

2 上部

〔交〕 以為交(去)飾(入)濁(綴) 二五三

〔亦〕

世尊亦(入)急(造) 三六

亦(入)急(令) 一〇七

亦(入)急(見) 三二七

2 人部

〔人〕

五十(入)濁(綴)人(上)俱(上)濁 二〇三

大(平)濁(夫)上(濁)人(上) 二七

門人(上) 四二

惡人(去) 四六

此人(去) 四六

四五三・四九七・五八二・六三二

其(上)濁(人)上(去) 五一六・六〇三

愚(去)濁(人)上(去) 五五二

彼人(去) 五八六

是人(去) 六三一・⑨一

千二百五十人(上)上(俱)上(濁) ①三

其上(去)人(去)民(上)

⑥ 7

善人(去)

⑧ 3

其人(上)

⑧ 7

若有人(去)

⑭ 6

是諸(上)人(上)等

⑮ 1

〔仁〕

行世仁(平)慈(上)濁

五四 1

〔今〕

父王今(去)者(平)濁

四 2

王今(上)

五 4

我今(去)

六 5 · 二 3 7

今(去)向(平)

八 5

汝今(去)知(去)不

一〇 5

汝(平)今(去)知(去)不(上)

一一 5

如來今(去)者(平)濁

一一 2 · 4

如我今(去)者(平)濁

一三 4 · ⑨ 5 · ⑮ 5

於今(上)十(入)濁(急)劫

⑦ 2

今(去)發願

⑭ 7

若今(去)生(上)濁

⑮ 2

〔他〕

捨身(去)他(上)世

一七 3

捨身他(上)世

三三 2

周(去)梨(去)般(上)他(去)濁(加)上濁

① 6

〔令〕

令(去)

四 6 · 九 5 · 一 3 3

不(去)令(上)

六 2

皆令(上)

一 四 4 · 二 四 5 · 二 六 7

亦令(去)

一 四 6

極令(去)

一 六 4 · 二 八 7 · 三 三 4

教(平)令(去)

五 九 5

無令(去)

六 二 5

欲令(去)

⑧ 8

〔以〕

蜜(入)以(平)上(平)濁(王)

三 2

〔伎〕

天(去)伎(平)濁(樂)入濁(極)

二 二 1

〔伴〕

與賊為(上)伴(平)濁

四 6

〔似〕

又(平)似(平)濁(星)上(月)入濁(急)

一 五 6

〔伽〕

毘(去)濁(楞)上(伽)伽(上)濁

一 八 7

阿(平)伽(上)度(平)濁

二 八 2

毘(去)濁(楞)上(伽)伽(上)濁

三 五 2

周(去)梨(去)般(上)他(上)濁(加)上濁

① 6

迦(去)陵(上)頻(上)濁(伽)上濁

⑤ 1

〔位〕

貪(去)濁(國)入(位)平(故)

五 3

〔住〕

不(上)宜(上)濁(住)平(濁)此

五 5

住(平)濁(立)入(緣)

二 三 3

〔何〕

我宿(入)緣(何)上(濁)罪(平)濁

七 7

何(去)濁(等)

八 1

云(去)何(上)濁

一 三 5 · ⑥ 5 · ⑭ 1

當(去)云(上)何(上)濁

二 四 1 · 六 二 2

當(去)何(上)濁(名)去

六 二 1

何(去)濁(沉)平

六 二 7 · ⑤ 7

彼土何(去)濁(故)

② 7

彼佛何(去)濁(故)

⑥ 5

何(去)濁(故)

⑭ 1

〔佛〕

佛(入)濁(急)說(入)急

二 一 · ① 1

一(入)急(時)上(佛)入(濁)急(在)

二 2

三(去)佛(入)濁(急)陀(上)濁

二 八 2

而(去)作(平)

三 4

凡(去)濁(作)平

一 四 1

所作(平)

⑤ 8

俱(去)作(平)

⑥ 2

〔來〕

而(去)來(上)

四 4

已來(去)

五 2

來(去)慰(平)問我

六 4

而來(上)

七 2

未(平)來(去)

八 4

光來(上)照(去)身(上)

四 一 7

常來(上)至此

四 二 5

來(去)迎(平)

四 七 6

我來(去)迎汝

五 〇 1

〔侍〕

目(入)緣(連)去(侍)平(濁)左(平)

七 4

侍(平)濁(立)

二 三 4

為侍(平)濁(者)平

三 三 一 · 三 五 1

為侍(平)濁(者)

三 五 7

五百侍(平)濁(女)

六 一 2

五百侍(平)濁(女)平

六 一 5

〔供〕

供(平)養(平)

七 5

〔便〕

即便(去濁) 六1・1〇2・四四4

顛(去)倒(平濁) ⑨2

无(上)量億(入急)劫 二二5

金(去)色(入濁)光(上) 一八1・五一6・五三1

方(去)便(平濁) 一三3

側(入)塞(入急) 四〇5

无(上)量億(入急)劫(入急) 三〇5

紅(去濁)色光(上) 一八2

難(平)姐(上)反(上)佛 ⑩6

側(入)塞(入急) 四〇5

五十億(入急)劫 五五6

其光(上) 二一4・二五1・三三4・三六5

深信(平) 一一4

備(平濁)七寶色 三五4

充(去濁)滿(平) ⑧4

八万四千光(上) 二四5・二五7

深(去濁)信(平) 四七2

備(平濁)七寶色 三五4

充(去濁)滿(平) ⑧4

千(去)光(上)明 二五1

俱(去)時放光明 四八4

面(平)像(平濁) 一二7

先(去濁)先(上濁)作 二六5

一一金光(上) 二六1

五十(入濁)人(上)俱(上濁) 二3

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

俱(去)時放光明 四八4

面(平)像(平濁) 一二7

先(去濁)先(上濁)作 二六5

一一金光(上) 二六1

一時(上濁)俱(去)至 五七7

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

千二百五十人(上)俱(上濁) ①3

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

諸(去)天(上)大衆俱(上) ②4

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

同(去濁)時(上濁)俱(去)作(平) ⑥2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

俱(去)會(平)一(入急)處(平) ⑧3

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

欲修(上) 一〇7

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

當(去)修(上) 一一2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

與修(去)多(上)羅(上)合(入濁) 三〇2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

修(去) 四九1

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

修(去)行(上濁) 五一3

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

戒香薰(去)修(上濁) 五二7

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

八十億(入急)劫 一七2・五八2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

八十億(入急)劫 一七2・五八2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

八十億(入急)劫 一七2・五八2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

八十億(入急)劫 一七2・五八2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

八十億(入急)劫 一七2・五八2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

八十億(入急)劫 一七2・五八2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

八十億(入急)劫 一七2・五八2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

八十億(入急)劫 一七2・五八2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

八十億(入急)劫 一七2・五八2

面(平)像(平濁) 一二7

如先(上濁) 四二7

一一金光(上) 二六1

名聞(上)光(上)佛

⑩ 4

八(入急)聖(平)道分(平濁)

⑤ 3

大光(上)佛

⑪ 2

第六(入急)觀

二二 4

名光(上)佛

⑫ 4

於六(入急)劫

五八 5

香光(上)佛

⑬ 2

晝(平)夜(平)六(入急)時(上濁)

④ 3

入部

[內]

室(入)難(急)內(平)

二 6

勅(入)樓語內(平)宮(上)

六 2

內(平)外(平濁)

一五 1

蓮華之內(平)

五八 5

[兩]

於(去)臺(上濁)兩(平)邊(平)

一六 1

八部

[八]

授(平濁)我八(入急)戒(平)

三 5

其(去)幢(上濁)八(入急)方(平)反

一五 2

八(入急)種(平)

一六 2

八(入急)十(入濁)經

二七 7

第八(入急)觀(平)

三〇 4

丈(去)濁六八(入急)尺(入急)

四三 5

充(去)滿(平)其(去)中(上)

③ 4

及其(上濁)人(去)民(上)

⑥ 7

現在其(去)前(上濁)

⑨ 1

各於(上)其(上濁)國

⑩ 1

[具]

八楞(去)具(平濁)足(入急)

一五 2

具(平濁)此功德

四五 2

[典]

方等經(上)典(平濁)

四五 1

二部

[冠]

天(去)冠(上濁)

三五 3・三八 1

其天(上)冠(上濁)中(上)

三五 3

二部

[冰]

當(去)起(平)冰(平)反(平)想

一四 7

二部

[凡]

一切凡(去)夫(上濁)

一〇 7

汝是凡(去)夫(上濁)

一三 1

凡(去)濁

一四 1

二部

[出]

復(平濁)出(入急)

六 2

佛口(平)出(入急)

一〇 2

涌(平)出(入濁急)金(去)色(入濁急)

二一 4

演(平)出(入濁急)光明

三一 5

出(入急)微(上)妙音(上)

⑥ 1

二部

[分]

无(去)分(平濁)散(平濁)意(平)

一四 6

分(平濁)齊(上濁)分(去)明

一五 5

分(平濁)齊(上濁)分(去)明

一五 6

了了分(去)明

一六 6・二四 5

皆令分(去)明

二〇 3

分(平濁)

二〇 5

分(去)別(入濁急)

二三 2

皆令(上)分(去)明

二六 7

清(去)白(入濁急)分(去)明(上)

三一 4

分(去)身(上濁)

四〇 4

人(去)中(上濁)分(平)陀(上濁)利

〔平華〕七
八〔入急〕聖〔平〕道分〔平濁〕

汚才反〔平〕〔去〕刹〔入急〕利種〔平〕
光明王〔上〕佛刹〔入急〕

力部

〔勇〕
精〔去〕進〔平濁〕勇〔上〕猛〔平〕

〔列〕
行〔去濁〕列〔入急〕

〔前〕
如〔去〕前〔上濁〕
如前〔上濁〕

〔力〕
得无上力〔入急〕

〔動〕
當〔平〕地動〔平濁〕處

〔初〕
劫〔入急〕初〔上〕

佛前〔去濁〕

〔功〕
八功〔上〕德水〔上〕

一時動〔平濁〕搖〔去〕
驚〔平〕動〔平濁〕

名曰初〔去〕觀〔平〕

現前〔去濁〕

〔劣〕
羸〔平〕劣〔入急〕

吹〔去〕動〔平濁〕

〔別〕
分〔去〕別〔入濁急〕解〔平濁〕說

行者前〔上濁〕

〔助〕
助〔平濁〕

〔勝〕
為〔去〕其〔上濁〕勝〔平〕友〔上〕

〔利〕
師〔上〕利〔平〕法〔入急〕王〔平〕子〔平濁〕

因〔去〕前〔上濁〕宿〔入急〕習〔入急〕

〔劫〕
劫〔入急〕初〔上〕

〔勸〕
勸〔去〕進〔平濁〕

即〔入急〕執〔入急〕利〔平〕劍〔去〕

現〔平濁〕前〔去濁〕

五〔去濁〕万劫〔入濁急〕

一四・四六一

分〔平〕陀〔上濁〕利〔平〕華〔上〕

住其〔上濁〕人〔上〕前〔上濁〕

无〔上〕量億〔入急〕劫〔入急〕

三〇五

〔到〕
我見是利〔平〕

前〔去濁〕

經半〔平〕劫〔入濁急〕已

五三六

還〔去濁〕到〔平〕

現在其〔去濁〕前〔上濁〕

千劫〔入濁急〕

五五五

〔制〕
制〔去〕

金〔去〕剛〔上濁〕

摩訶劫〔入急〕寶〔去〕那〔上〕

①七

〔刹〕
禁〔平〕制〔去濁〕

金〔上〕剛〔上濁〕臺

阿〔去〕僧〔上〕祇〔上濁〕劫〔入急〕說

⑦一

〔利〕
捨〔平〕劍〔去〕

即〔入急〕執〔入急〕利〔平〕劍〔去〕

劫〔入急〕濁〔入濁急〕

⑮八

〔制〕
制〔去〕

即〔入急〕執〔入急〕利〔平〕劍〔去〕

劫〔入急〕濁〔入濁急〕

⑮八

〔刹〕
禁〔平〕制〔去濁〕

以手〔平〕按〔平〕劍〔去〕

即〔入急〕勅〔入急〕大目犍連〔平〕

⑮八

〔北〕
北〔入急〕方〔上〕世界

⑮六

2 十部

〔十〕

五十(入濁急)人(上)俱(上濁)

照(去)十(入濁急)方(去)

八(入急)十(入濁急)隨(去濁)形(上濁)

好(平)

手十(入濁急)指(上)端(上)

第十(入濁急)觀

十(入濁急)二(平)部經

經十(入濁急)小劫

於今(上)十(入濁急)劫

〔千〕

千(去)二(平)百(入)樓

三(去)万(平)二(平)千(上)

其葉千(去)色

百千(去)

放千(去)光(上)明

八万四千(上)色(入)樓

有千(去)輻(入濁急)輪(去)相(平濁)

與千(去)化佛

〔半〕

經半(平)劫(入濁急)已

〔南〕

稱(去)南(平)无(上)阿弥陀佛

南(去)方(上濁)

〔印〕

如印(平)文(去)

却(入)行(平濁)

除(去)却(入)千劫(入濁急)

〔卷〕

一(入)卷(平)

〔即〕

即(入)執(入)樓

即(入)勒(入)樓

即(入)見

經宿(入)即(入)開

目即(入)開明

即(入)下

即(入)自

蓮華即(入)合(入)樓

尋(去)即(入)命終

即(入)遣化佛

即(入)便

即(入)從(去)樓

〔去〕

去(平)

過(平)去(平)

左禮(平)而去(平)

〔又〕

又(平)

〔又〕

合掌又(平)手

合掌(平)又(平)手

夜(平)又(上)

〔及〕

及(入)富(上)樓那

及(入)釋(入)提(去)樓

惡(入)友(上)

親(去)友(平)(上)

善友(平)

勝(平)友(上)

〔叔〕

甄(平)叔(入)迦(上)寶

〔受〕

正(平)受(平濁)

〔口〕

漱ソク反(入)シヌ反(平)口(平)

佛口(平)

〔可〕

不(上)可(平)

但可(平)

〔右〕

在右(平)

左(去)右(上)

在佛右(平)邊(去)

右(平)旋(去)

〔号〕

故号(平濁)

② 3

四 4

二 5

三 4

五 9 6

六 3 2

二 5 3

一 0 1

一 0 5

一 1 6

⑩ 6

三 3

一 0 2

四 4

⑧ 1

七 4

二 3 4

二 9 2

三 1 3

三 9 2

四 7 7

三 6 6

四 8 4

四 8 5

五 0 1

号(平濁) ②6・⑤5

僧名(上) 五七2

告(平濁) 五6

和(去)鳴(平)哀(去)雅(上濁) 二一5

各(入)總作異相 二六1

三(上)寶(平濁)名(上) 五七2

告(平濁) 五6

上品(平濁) 四四3

面(平)各(入)總百千由旬 三四6

當(去)何(上濁)名(去)此經 六二1

周(去)梨(上)般(上)他(上濁)伽(上濁) ①5

中品(平濁) 五一2

合(入濁)成(去濁) 九2

此經名(去)觀(平) 六二3

周(去)市(入)園(上) ②2

下品(平) 五五1

修(去)多(上)羅(上)合(入濁) 三〇3

三(去)惡道之(去)名(上) ⑤7

幻(平濁)惑呪(平)術(入濁) 四6

善(平濁)哉(去濁) 一二3

不(上)合(入濁)者 三〇3

執(入)持(上濁)名(去)号 ⑧6

阿(平)羅(上)阿(平) 二八2

唯(去)願 八一

有合(入濁)者 三〇3

名(去)聞(上)佛 ⑫4

乾(去)陀(上濁)阿(去)提(上濁)菩薩 ②2

唯(去)頂上 三七1

蓮華合(入濁)想(平) 四一6

何(去)故(去)為(上) ⑭1

共命(平)之(去)鳥(上) ⑤1

問(平) 四1

十二部(平濁)經合(入濁) 四二2

所說名(上) ⑭3

壽(平濁)命(平) ⑥7

善(平濁)哉(去濁) 一二3

即(入)合(入濁) 五三4

及經(去)名(上)者 ⑭3

臨(去)命(平)終(去濁)時(上濁) ⑧7

多(去)不(上)善(平濁)聚(平濁) 八4

頗(去)梨(上)合(入濁)成(去濁) ③5

向(平) 三3

命(平)濁 ⑯1

少善(平濁)根(去濁) ⑧4

身(去)同(上濁) 四三7

遙(去)向(平) 六3

蘇蜜(入)和(去) 三1

心(去)欲(上)喜(平濁) 一二7

同(去濁)時(上濁) ⑥2

今(去)向(平) 八5

如和(去)合 一九1

欲(去)喜(平濁) ⑯6

名(去) 二5

西向(平) 一四3

顏色(入濁)和(上)悅(入) 四1

讚(平)嘆(平濁) 二一3・四六1・⑨5

其名(上) 三七6

成(去濁)阿(平)那(上)合(上濁) 一〇4

和(去)鳴(平) 二一5

嘆(平) 六一4

首(平)題(去濁)名(上)字(平濁) 五五4

吹(去) 五八3

出和(去)雅(上濁)音(上) ⑤2

求(去濁)哀(上) 八5

諸經(上)名(上)故 五五4

微(去)風(上)吹(去)動(平濁) ⑥1

求(去濁)哀(上) 八5

佛名(上) 五六1

是吾(平濁) 三4

五七1・六二6・六三4

三4

求(去濁)哀(上) 八5

嘆(平) 六一4

樂(入濁)器(上)

一六1・一六2・二二1

國(入疑)土

四〇5

坐(平濁)

七4

自(平濁)然(去)增(去濁)進(平)

一〇4

〔殿〕

殿(去濁)顯(平)可觀(平)

九5

〔園〕

周(去)市(入疑)園(上)遶(平)

②2

〔城〕

大城(去濁)

二4

〔墮〕

應(去)墮(平濁)

五七6・五九3

莊(去)殿(上濁)

一六2

諸(去)莊(上)殿(上濁)事

三六2

〔園〕

給(入)孤(上)獨(入濁)園(去)

①2

〔執〕

收(平)執(入疑)父(平濁)王(去)

二6

〔士〕

二大士(平濁)

二三4

寶華(上)殿(去濁)

⑬2

3 口部

團(去濁)圓(上)

二1

〔堅〕

令心(上)堅(去)住

一四3

〔壯〕

壯(去)ヤウ反(上)士(平濁)

五四4

〔四〕

皆是四(平)寶(平)

⑧2

〔圓〕

其(去)圓(上)光(上)中(上濁)

三16

〔報〕

罪(平濁)報(平)所生(去)

⑤5

〔壽〕

無(去)量(平)壽(平濁)觀(平)經

二1

〔因〕

何(去濁)等因(去)緣(上)

八1

〔團〕

團(去濁)圓(上)

二1

〔場〕

道場(去濁)

六三2

〔夕〕

彼佛壽(平濁)命(平)

⑥7

深信(平)因(去)果(平濁)

一一4

3 土部

正(平)因(去)

一一7

〔塗〕

用(平)塗(上濁)

三1

〔外〕

內(平)外(平濁)

一五1

我今(去)因(去)佛力故

二二7

〔在〕

深(去濁)信(平)因(去)果(平濁)

四七2

身(去)塗(上濁)

四3

〔多〕

因(去)

四八4

存(上濁)在(平濁)

四2

側(入疑)塞(入)空(上)中(上濁)

三九1

〔多〕

釋(入疑)提(去濁)桓(去)因(上)

②4

〔地〕

投(平)地(平濁)

七6

多(去)日

四6

〔國〕

國(入疑)大(平濁)夫(上濁)人(上)

二7

〔寶地〕

寶地(平濁)

二八5

〔塵〕

无量塵(去濁)數(平濁)

四〇4

聰(去)明(上)多(去)智(平)

五1

貪(去)國(入疑)位(平)故

五3

〔坐〕

坐(平濁)

二八5

〔增〕

多(去)

四〇4

提(去濁)婆(上濁)達(入濁)多(上)

八1

廣為(上)多(去)衆(平) 一二四

多(去)陀(上)阿(平)伽(上)度(平) 二八二

修(去)多(上)羅(上)合(入)濁(上) 三〇三

衆(去)多(上)濁(上) 三二七

經歷多(上)劫 五九四

離(去)婆(平)多(上) ① 5

阿(去)逸(入)多(上)菩(上)濁(上)薩 ② 2

其中(上)多(去)有 ⑦ 7

甚(去)濁(上)多(上)濁(上) ⑦ 7

阿(上)耨(入)多(上)羅(上) ⑭ 5

如夜(平)摩(上)天(上) 二五五

夜(平)摩(上)天(上) 三一二

一日一夜(平) 五二四

龍及夜(平)叉(上) 六三七

晝(平)夜(平) ④ 3

3 大部

[大] 與(平)大(平)濁(上)比(平)丘(上)衆(平) 二 3

國(入)總(大)平(濁)夫(上)濁(上)人(上) 二 7

[天] 凡(去)濁(上)夫(上)濁(上) 一〇 7・一三 1

諸天(上) 七 5・二二 1・二八 6

普(平)雨(上)天(去)華(上)濁(上) 七 5

自在天(上)宮(上)濁(上) 九 3

未得天(去)眼 一三 2

諸天(上)童(上)濁(上)子(平)濁(上) 一八 6

如天(上)環(去)珠 一九 5

作天(去)伎(平)濁(上)樂(入)濁(上) 二二 1

如天(上)寶幢 二二 2

猶(去)如(上)天(去)晝(平) 二四 4

夜(平)摩(上)天(上)宮(上)濁(上) 二五 5

夜(平)摩(上)天(上) 三一 2

以為(上)天(去)冠(上)濁(上) 三五 2

其天(上)冠(上)濁(上) 三五 3

次觀(平)天(去)冠(上)濁(上) 三七 7

諸(上)天(去)華(上)濁(上) 五八 3

常作天(去)樂(入)濁(上) ② 4

雨(去)天(上) ④ 2

一(入)急(太)平(子)平(子) ④ 3

[夫] 大(平)濁(上)夫(上)濁(上)人(上) 二 7

[太] 凡(去)濁(上)夫(上)濁(上) 一〇 7・一三 1

[失] 散(平)失(入)濁(上) 一六 5

忘(平)失(入)急(上) 六二 5

不失(入)急(上) 四二 3

[夷] 迦(去)留(上)陀(上)濁(上)夷(上) ① 7

[奇] 種(平)種(平)濁(上)奇(去)妙(平) ④ 7

[奉] 奉(平)濁(上)事(平)濁(上) 一一 2

[女] 侍(平)濁(上)女(平) 六一 5

[好] 相好(平)濁(上) 二二 4・三三 4

隨(去)濁(上)形(上)濁(上)好(平) 二七 7

衆(去)好(平) 三七 1

汝好(平) 六三 3

[如] 如(去)是(平)濁(上) 二二 2

如(去) 三五・九一・一六 5・二八 3・二九 1・五三 2・⑩ 3

[姿] 狀(去)濁(上)如(上) 一四 4

其光(上)如(去)華(上) 一五 6

從(去)濁(上)如(上)意(平)珠(上)王(上) 二〇 5

生(去) 二四 4

猶(去)如(上) 二五 1

其光(上)如(去)蓋(上) 三五 7・⑥ 1

如(上) 三九 5

以聞(去)如(上)是 五五 4

說如(上) 六三 7

與如(上)是 ② 3

大如(上)車(去)輪(上) ⑧ 7

[妄] 名為妄(平)想(平)濁(上) 三〇 3

[妙] 淨妙(平)濁(上) 九 2

微(去)妙(平) ⑧ 8

奇(去)妙(平) ④ 7

[威] 世尊威(上)重(平)濁(上) 六 5

不犯(平)濁(上)威(去)儀(上)濁(上) 一一 3

威(去)儀(上)濁(上) 五二 6

類(去濁)婆(上濁)娑(上濁)羅(上) 二六 (入濁疑) ⑤1

娑(去)羅(上)樹 ⑬2 [字] 名(上)字(平濁) 五五四

能於(上)娑(去)婆(上) ⑬7 [存] 猶(去)存(上濁)在(平濁) 四二

[婆] 類(去濁)婆(上濁)娑(上濁)羅(上) 二六 [孝] 一者孝(平)養(平) 一一二

耆(去濁)婆(上濁) 五一 孝(平)養(平) 五四1

提(去濁)婆(上濁)達(入濁急)多(上) 八一 [孤] 給(入急)孤(上)獨(入濁疑)園(去) ①2

離(去)婆(平)多(上) ①5 [守] 問(平)守(平)門(平)者(平濁) 四1

娑(去)婆(上濁) ⑬8 [安] 安(平)慰(平) 五八6

[婉] 婉(上)轉(上濁) 一九六 [宛] 右(平)旋(去)宛(上)轉(上濁) 三一3

王(平)子(平) 二4・②2 [室] 不(上)宜(上濁)住(平濁)此 五5

太(平)子(平) 二5 [宜] 我宿(入急)何(上濁)罪(平濁) 七7

童(上濁)子(平濁) 一八6 [宛] 經宿(入急)即(入急)開 四八2

法(入急)子(平) 四七6 [宛] 宿(去)前(上濁)宿(入急)習(入急) 四八5

弟(平濁)子(平) ②1・⑦3 [室] 宿(去)反(平)王(去)佛 ⑬1

師(上)子(平)佛 ⑬4 [富] 尊(去)者(平濁)富(去)樓(上)那(上) 三6

[孔] 毛(去)孔(平) 三一5・三八6 [富] 尊(去)者(平濁)富(去)樓(上)那(上) 三6

白(入濁急)鶴(去)反(入急)孔(平)雀 其室(入急) 五六3

及(入濁疑)富(上)樓那 四4

[實] 諸法實(入濁急)相 六〇5

實(入濁急)是 ⑤5

[寶] 誠(去濁)實(入濁急)言(上濁) ⑩2

百寶(平) 七4

衆(去)寶(平濁) 一八3

有寶(平)纒(去) 二五5

三(上)寶(平濁) 五七2

四(平)寶(平) ②2

3 寸部

[專] 應當(上)專(去)心(上濁) 一三7

專(去)想(平) 一四3

[尊] 世(平)尊(去) 三4

尊(去)者(平濁) 三6

[尋] 尋(去濁)樹(平濁)開(上) 二二2

蓮華尋(去濁)開(上) 五二1

尋(去濁)即(入急) 五四4

3 小部

〔小〕

或現小(平)身(去)

四三五

〔尚〕

尚(去)無(去)

⑤6

3 尤部

〔就〕

成(去)濁(就)平(濁)

⑧8

3 尺部

〔尺〕

丈(去)濁(六八)入(急)尺(入)緩

四三五

3 尸部

〔尼〕

釋(平)迦(平)牟(上)尼(上)佛

七3

摩(去)尼(上)寶

一八7

摩(上)尼(上)光

一八7

摩(上)尼(上)水(上)

二一2

陀(去)濁(羅)上(尼)上(門)上

四六7

〔屈〕

此(平)話(平)濁(已)平(平)

四5

屈(入)急(申)平(平)

五四4

〔屬〕

眷(平)屬(入)濁(緩)

八1

3 山部

〔山〕

耆闍崛山(上)

六3

耆(去)濁(闍)崛山(上)

七2

須(去)彌(上)山(上)

三一4

須(上)彌(上)山(上)

⑩3

3 工部

〔左〕

侍(平)濁(左)平(平)

七4

侍(平)濁(立)左(去)右(上)

二三4

在佛左(平)邊(去)

二九1

坐左(平)華座

二九3

3 己部

〔己〕

自見己(平)反(平)身(去)

五一8

〔已〕

此(平)話(平)濁(已)平(平)

四5

是音(上)已(平)

⑤4

巳(平)發願

⑭6

3 巾部

〔巾〕

周(去)巾(入)緩(圍)上(上)邊(平)

⑧2

〔布〕

布(平)散(平)

三六7

金(去)砂(上)布(平)地

⑧4

〔希〕

韋(上)提(上)濁(希)上

二7

希(去)有

⑮7

〔帝〕

如帝(平)釋(入)緩(瓶)去(濁)

一九6

文(去)殊(上)濁(師)上(上)利(平)

二4

奉(平)濁(事)平(濁)師(上)長(平)

一一2

文(去)殊(上)濁(師)上(上)利(平)

②2

有師(上)子(平)佛

⑫4

〔常〕

无(上)常(上)濁

一六3

无常(上)濁

二一3

常(去)濁

二一五・四一三・②3

〔幡〕

幢(去)濁(幡)上(濁)

一九7

〔幢〕

金幢(上)濁

一五2

其(去)濁(幢)上(濁)

一五2

華(去)濁(幢)上(濁)

一六1

化成(去)濁(幢)去(濁)幡(上)濁

一九7

幢(去)濁)上

二五5

一一幢(去)濁

二六7

无量幢(上)濁)佛

⑪2

法幢(去)濁)佛

⑫5

3 干部

〔并〕

并(去)濁

②1

3 ㄩ部

〔幻〕

幻(平)濁)惑

四6

〔幽〕

幽(去)閉(平)

二六・一〇三

被(平)幽(去)閉

六3

3 广部

〔底〕

以為底(去)砂(上)

二〇七

池(去)底(上)

③ 4

〔度〕

阿(平)伽(上)度(平)灣

二八二

度(平)灣(古)平

四〇六

〔座〕

華(去)座(平)灣想

二六三

〔廁〕

雜(入)灣(急)廁(上)間(去)錯(入)灣(急) 一五五

〔廓〕

廓(入)灣(急)然

六一四

〔廣〕

為我廣(平)說(入)灣(急)

八二

縱(去)灣(急)廣(平)

一九四

廣(平)長(平)灣

三九四・六一三・⑩ 1

廣(平)說(入)灣(急)入(急)

五八一

3 互部

3 彳部

〔延〕

迦(去)旃(上)延(平)上

① 5

3 弓部

3 彳部

所現之形(上)灣

四三五

隨(去)灣(急)形(上)灣(好)平

二七七

〔引〕

接(入)灣(急)引(急)

三六五

〔弗〕

舍(平)利(平)弗(入)急

① 4

〔弟〕

大弟(平)灣(子)平

② 1

聲(去)聞(上)弟(平)灣(子)平

⑦ 3

〔彈〕

如彈(平)指(平)灣(頃)平

四六三

〔彌〕

須(上)彌(上)山

九一

阿(去)彌(上)陀(上)灣

九七・① 1

彌(去)覆(平)

一八四

須(去)彌(上)山(上)

三一四

不彌(去)灣(上)

三七一

沙(上)彌(上)

五二五

須(去)彌(上)

⑨ 6

須(上)彌(上)山(上)

⑩ 3

3 彳部

〔形〕

隨(去)灣(急)形(上)灣(好)平

二七七

所現之形(上)灣

四三五

3 彳部

〔彼〕

詣(平)親(平)彼(平)國

一〇六

見彼(平)

一二六

願生(去)灣(彼)平國

四四四

彼(平)

⑬ 6

〔往〕

一(入)急不(上)得(入)急往(平)

二七

我當(去)往(平)生(去)灣

八二

〔徒〕

有目(入)急之徒(上)

一四二

〔得〕

一(入)急不(上)得(入)急往(平)

二七

无(去)由(上)得(入)急見(平)

六五

當(去)得(入)急見(平)

一二六

得(入)急見 一三三・二三七・二四五

・三三六・三八六・六一三・六二五

若(入)急得(入)急三(去)味(平)

一六六

心眼得(入)急開

二八四

得(入)急无生認

六一四

〔從〕

從(去)灣(空)上)灣

四四

佛從(上)灣

七二

從(去)灣

一〇二・

隨從(上)灣佛後

一六二・二〇五・② 5

即(入)急從(去)灣)座起

四六三

〔徧〕

徧(平)照(去)灣

六二一

正徧(平)知(上)灣)海(上)

八七

徧(平)滿(平)彼國

二八二

〔復〕

不(去)令(上)復(平)灣)出(入)急

二九七

復(平)灣)次(平)

六二

〔微〕

即便(去)灣)微(上)笑(上)

④ 7

其聲(上)微(上)妙

一〇二

微(去)妙

二二二

微(去)妙(平)

二五五

微(去)風(上)

③ 8

出入急微(上)妙音(上)

⑥ 1

〔德〕

功德(入)灣)水(上)

⑤ 8

映(去)灣)微(入)急

二一六

〔微〕

映(去)灣)微(入)急

一四七

Abstract

A Kanji Index to Shinran's *Bussetsu Amida-kyo* and
Bussetsu Kanmuryoju-kyo (Part 1 of 3)

Isamu SASAKI

(Department of Japanese Literature)

Shinran's *Bussetsu Amida-kyo* and *Bussetsu Kanmuryoju-kyo* were transcribed around 1200 by one of the greatest religionist in Japan, Shinran, 1173—1262. The *kana* and accent marks were added beside the *kanji* by Shinran. These marks indicate the pronunciation of the *kanji* at the beginning of the 13th century. The pronunciation of most of the *kanji* belongs to *go on* (呉音).

The two Buddhist scriptures were reproduced in photostat as the seventh volume of the complete works of Shinran, *Shinran Shonin Shinseeki Shusei*, and they are available for the further research. It is believed that their value will be increased by the index compiled by the present writer.

The rest of the index will be carried on and after the next volume of this Bulletin.

(Received July 3, 1992)